

# 事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分「一部、令和7年度分を含む」)

静岡県立浜名特別支援学校

## 目 次

事務事業の概要	1
事務執行の根拠法令調	1 8
学校施設の概要	1 9
在籍生徒調	2 0
入学志願者及び入学者数調	2 2
卒業生の動向調	2 3
生徒の状況	2 4
特別支援学校における生産物売払調	2 6
預金調	2 7
郵券等受払調	2 8
材料品受払調	2 8
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	2 9
委託料に関する調	3 1
負担金支出調	3 4
建築工事調	3 5
公有財産調	3 7
借地借家等調	3 7
事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	3 8
行政財産貸付・使用許可調	3 8
普通財産・借受財産等貸付調	3 8
主要備品調	3 9
生産物受払調	4 0
職員調	4 4
職員の年齢調	4 9
健康管理	5 0

## 事務事業の概要

### 1 概況

#### (1) 学校の沿革

- 昭和 53 年 2 月 25 日 湖西市、新居町、舞阪町、雄踏町、可美村の浜名地区 5 市町村により  
静岡県浜名養護学校組合準備委員会を結成
- 昭和 53 年 10 月 30 日 組合立浜名養護学校設置許可
- 昭和 54 年 3 月 27 日 校舎竣工検査（R C 2 F 2,299 m<sup>2</sup>）
- 昭和 54 年 4 月 1 日 静岡県浜名養護学校組合立浜名養護学校開校
- 平成 7 年 5 月 10 日 県立移管準備委員会並びに幹事会発足
- 平成 8 年 4 月 24 日 県立移管準備打ち合わせ会発足
- 平成 8 年 10 月 15 日 県立移管検討委員会発足
- 平成 8 年 10 月 22 日 覚書交換式（浜松名鉄ホテル）
- 平成 8 年 11 月 22 日 組合立浜名養護学校廃止認可
- 平成 8 年 12 月 17 日 設置条例案、県議会において決議、名称が静岡県立浜名養護学校に決定  
公布日 平成 8 年 12 月 25 日、施行日 平成 9 年 4 月 1 日
- 平成 8 年 12 月 20 日 静岡県立養護学校学則の一部改正、定例教育委員会において決議  
施行日 平成 9 年 4 月 1 日
- 平成 9 年 3 月 7 日 浜名養護学校県立移管概要全体説明会
- 平成 9 年 4 月 1 日 静岡県立浜名養護学校開校
- 平成 9 年 5 月 7 日 開校式挙行（小学部 25 人・中学部 18 人 計 43 人）
- 平成 11 年 4 月 1 日 高等部開設
- 平成 14 年 3 月 25 日 増築校舎竣工（S R C 5 F 3,523 m<sup>2</sup>）
- 平成 18 年 2 月 28 日 小学部教室棟耐震補強工事竣工
- 平成 18 年 11 月 16 日 学校歯科保健優良学校受賞
- 平成 20 年 4 月 1 日 静岡県立学校設置条例の一部改正により、名称を静岡県立浜名特別支援学校に  
変更
- 平成 21 年 4 月 24 日 創立 30 周年記念式典 新校歌制定
- 平成 22 年 3 月 23 日 湖西市、新居町の配置分合により、住所が湖西市新居町浜名に変更
- 平成 25 年 1 月 15 日 学校給食優良学校受賞
- 平成 27 年 10 月 1 日 学校環境衛生優良学校受賞
- 令和元年 11 月 30 日 創立 40 周年記念式典



2 目指す学校像

(1) 教育目標 「豊かな社会生活を実現できる浜名の子」

合言葉：【 笑顔 仲間 地域 】 スローガン：【 幸せを運ぶはまな 】

(2) 目標具現化の柱

ア【 笑顔 】

子どもたちも職員もおだやかにのびのびと笑顔で過ごすことができる環境づくり

イ【 仲間 】

恵まれた教育環境を生かし、仲間と関わりながら自ら考え行動できる活動づくり

ウ【 地域 】

地域社会とつながり、共生社会の実現に向けてともに歩むことのできる関係づくり

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
【笑顔】 環境づくり	安全で 安心な 学校生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難生活を見据えた備蓄消耗品の定期的な点検と計画的な購入、避難生活想定研修が実施されている。</li> <li>様々な発災時に必要な避難行動を、訓練時に自ら行うことができる。</li> <li>避難生活に見通しをもてる体験活動を複数組み合わせ実施している。</li> </ul>	<p>&lt;防災課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計画的に避難生活想定研修を実施することができた。</li> <li>マニュアルの確認を全教員で行った。分掌課員を中心に備蓄消耗品の点検を行った。</li> <li>避難訓練をとおして、事前事後指導を行うことで児童生徒が適切な避難行動を行うことができたと答えた教員 99%</li> <li>危機管理マニュアルや搜索訓練、緊急時対応訓練などを通して緊急時に自分にとるべき行動を理解することができたと答えた教員 99%</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>常にマニュアルを見直し、来年度は災害時の初動について分かりやすくしていく。</li> <li>昼休み、下校時など様々な発災時の訓練を実施することができ、その都度事前事後指導を行うことができた。</li> <li>段ボールベット、マンホールトイレの組み立て等、学部の実態に応じた体験活動を実施することができた。</li> </ul>

	取組 目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
【笑顔】環境づくり	安全で 安心な 学校生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒がけがや病気から身を守る行動がとれている。</li> <li>・常に事故や危険防止の視点をもって環境を整えている教員 100%</li> <li>・緊急時に自分がとるべき行動を理解している教員 90%</li> <li>・児童生徒が食に関する知識や関心を見に付けることができている。</li> </ul>	<p>&lt;体育保健課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・けがや病気から身を守る行動がとれたり、けがや病気の対処法が分かったりする児童生徒 99%</li> </ul> <p>&lt;生徒指導課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時に自分がとるべき行動を理解している教員 100%</li> </ul> <p>&lt;体育保健課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食が美味しいや楽しいなどと答えた児童生徒 100%</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健の授業だけでなく、日常生活の中で声掛けが必要などきはあがるが手洗いなど身に付いてきた。</li> <li>・学年、学部全体で保健の授業内容を把握し、全員で指導していく必要がある。保健の年間指導計画を活用して授業実践したことを共有し日常生活から指導していく。</li> <li>・おすすめ献立や季節の献立、栄養教諭との授業など、食に関する指導の内容を考えることで、授業で学んだことを給食時に生かせることができた。</li> <li>・今後は、食事のマナーや楽しく食べる工夫に取り組みたい。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務部との情報共有により校内で早期に対応する環境整備ができていく。</li> </ul>	<p>&lt;事務部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報共有や連携により、早期に対応し、環境整備ができた。</li> </ul> <p>&lt;総務課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員作業や安全点検により施設整備の環境整備に取り組んだ教員 100%</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応を後回しにすることなく、事務室内や管理職と情報共有することで早期対応ができた。</li> <li>・安全点検や週末清掃は、総務課担当が呼び掛けを行うことで、全職員が取り組むことができた。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒が、自分や周囲の人や物、場所の良さを知り大切にしている。</li> <li>・道徳教育全体計画に基づき道徳教育の充実が図れたと答える教員 100%</li> </ul>	<p>&lt;学部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校を取り巻く環境を改めて知り、命の大切さや物の大切さを知ることができた。</li> </ul> <p>&lt;生徒指導課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳教育全体計画に基づき道徳教育の充実が図れたと答えた教員 91%</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昆虫を捕まえ大事に育てた。(小)地域の方と海岸清掃を行った。(中)桜チップを地域の店に納品した。(高)児童生徒昇降口に掲示してある学校を取り巻く環境マップを全校生徒で取り組んだりした。(全校)</li> <li>・道徳教育全体計画は、年度始めに確認したが、内容を意識し取り扱うことができなかつた。年度始めに人権担当から説明する時間を設けたい。</li> </ul>

	取組 目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
【笑顔】環境づくり	専門性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に授業づくりに取り組み、授業改善を行うことができた教員 100%</li> <li>積極的に一授業研等を参観し、アドバイスをを行うことができた教員（中堅研を終えた教員所属学部 他学部各一回以上）80%</li> </ul>	<p>&lt;研修課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に授業の見直しに取り組み、指導力が向上したと答えた教員 100%</li> <li>一人一授業研や校内授業研、普段の授業を参観し、授業者が指導してほしい視点についてアドバイスをを行うことができた。（所属学部、他学部各1回以上）77%</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の人の意見を聞くことは有意義である。次の授業や単元に生かすことができた。</li> <li>授業を抜けて参観することの難しさがあった。中堅以上の立場として、積極的なアドバイスができなかった。参観の仕方について検討する。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>防災、自立活動、進路、摂食等の外部専門家等による研修を実際の指導場面等に生かすことができたと答える教員 100%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災、自立活動、進路、摂食等の外部専門家等による研修を実際の指導場面等に生かすことができたと答える教員 100%</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢の保持や給食指導など、外部からいただいた専門的なアドバイスは、すぐに取り入れた。また福祉制度は変化していくので、年に一度話を聞けるとよい。</li> </ul>
	働きがいのある職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分らしさを発揮できたと答える職員 75%</li> <li>日々の会話の中で相手を気遣う言葉を伝えることができた職員 100%</li> <li>気遣いの言葉を複数回受けた職員 100%</li> <li>業務改善や教員のやりがい向上につながる取り組みを行うことができた。学年、分掌、各1ずつ</li> <li>常時 19 時、定時退勤日 17 時 30 分施錠と残留希望申し出（上限 1 時間）の徹底がされている。90%</li> </ul>	<p>&lt;全体&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の強みや経験などを生かし、自分らしさを発揮しながら仕事ができたと答える教員 96%</li> <li>日々の会話の中で相手を気遣う言葉を伝えることができたと答える教員 100%</li> <li>気遣いの言葉を複数回受けたと答える教員 98%</li> <li>業務改善や教員のやりがい向上につながる取り組みを行うことができた。学年、分掌、各1ずつ</li> <li>常時 19 時、定時退勤日 17 時 30 分施錠と残留希望申し出（上限 1 時間）の徹底がされていると答える教員 90%</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の与えられた業務や役割を意識し仕事を行うことができた。</li> <li>お互い思いやりをもちながら、分掌業務など協力して取り組むことができた。</li> <li>やりがい向上委員会を年2回開催した。特に働きやすい雰囲気づくりについて話題とした。</li> <li>やりがい向上委員会に参加した教員が、自ら挨拶をするなど、雰囲気づくりに努めることができた。</li> <li>年度始めや行事の際は、数人退勤時間が上限を超えてしまった職員もいるが、概ね達成できた。</li> </ul>

	取組 目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
【仲間】活動づくり	仲間との学びの中で、主体性を発揮できる活動づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒個々の自立活動や個別の目標が、複数の教員の視点からたてられている。</li> <li>・個別の指導計画が授業の計画・反省時に活用され、児童生徒の育ちにつながっている。</li> <li>・授業づくりの評価に基づき、教科横断的な視点で年間指導計画や教育課程の見直しができている。</li> </ul>	<p>&lt;学習指導課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の視点で児童生徒を捉え、情報を共有し、検討を行うことにより、的確な実態把握と目標設定を行うことができたと答える教員 100%</li> </ul> <p>&lt;教務課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の指導計画をもとに行われた、今年度の学習活動から、子どもの育ちを感じる事ができたと答える教員 96%</li> </ul> <p>&lt;学習指導課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画について意見を出し合い、各教科等のつながりを考えたり、ねらいを具体化したりすることができたと答える教員 97%</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習会、事例検討などを実施することで、意識的に複数の視点で実態把握、目標設定を行うことができた。</li> <li>・個別の指導計画を面談の際保護者に提示し共有することで、家庭でも同じように取り組み、子どもたちの成長に役立てることができた。</li> <li>・児童生徒の学習の評価から、年計について意見を出し合う場や方法を設定することで計画の見直しや、改善につなげることはできた。</li> <li>・各教科等の関連性や、学びの継続、単元の手続きなど意識した年計の内容を検討していく。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・見取りによる授業改善と適切な学習評価ができたと答える教員 90%</li> <li>・すべての児童生徒の主体的な姿をすべての授業で見ることができた。90%</li> </ul>	<p>&lt;研修課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒が自らの学習の成果を実感できるように、学びの過程や学習状況を見取り、見取りを行う教員同士で考えを聞き合う授業づくりができた。と答える教員 100%</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見取りの共有から気付かなかった姿を知ることができたり、活発な話し合いができたりした。</li> <li>・見取りの共有から授業改善の意見を出し合う場を増やしたい。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験的活動をとおり、児童生徒がワクワク（期待感と意欲）している姿が増えたり、仲間との関係が深まったりしている。</li> </ul>	<p>&lt;学部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験的な活動が児童の興味や人との関わりを広げることにつながったと答えた教員 100%</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験的な活動を意図的に取り入れることで、児童生徒の興味関心が深まり、友達同士のやりとりが増えた。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育のおさえを意識し、キャリア発達に応じた授業を実践した教員 100%</li> <li>・児童生徒が今の生活や将来の姿を前向きにとらえることができています。</li> </ul>	<p>&lt;進路指導課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育の押さえを意識し、キャリア教育に応じた授業実践ができた。と答える教員 100%</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して授業等で自己分析、自己理解を深める授業づくりをしたことで進路選択につなげることができた。</li> </ul>

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
【仲間】活動づくり	仲間との学びの中で、主体性を発揮できる活動づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師が情報機器を使用し、児童生徒の主体性を引き出した学習活動ができている。</li> </ul>	<p>&lt;学習指導課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教師が効果的にICT機器を活用した授業を実施し、児童生徒が主体的に学習することができたと答える教員100%</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べ学習でICTを積極的に活用することができた。研修会を行うことで教員のICT機器に関する理解を深めることができた。</li> <li>今後も授業に積極的にICT機器を活用するようにしていく。</li> </ul>
	豊かな日常生活を育む活動づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活年齢や発達段階に合わせた余暇につながる活動に、児童生徒が興味をもって自ら取り組んでいる。</li> <li>家庭でも取り入れてもらえるよう呼びかけを行っている。</li> </ul>	<p>&lt;学部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習成果の家庭との共有、家庭と連携した指導実践ができたと答えた教員100%</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級活動やLHRなどで取り組んだ内容について、便りで知らせるなどして家庭への呼び掛けを行うことができた。家庭では、公共交通機関を利用して出掛けたり、手伝いを行ったり取り組みが聞かれた。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>集会やペア学年との活動をとおり、他学部や他学年の児童生徒とあいさつを交わし合うことができるようになっている。</li> <li>体育的行事や学習発表会の中でお互いの活動を知り応援することができている。</li> </ul>	<p>&lt;生徒指導課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会を主体としたあいさつ運動の計画・実施（年3会）</li> </ul> <p>&lt;総務課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ペア学年での校内清掃を実施した。</li> </ul> <p>&lt;体育保健課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体育的行事の中でお互いの活動を知り応援することができたと答える教員100%</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎学期始めに行うことで、学校を明るい雰囲気にする事ができた。</li> <li>ピカピカ大作戦として、異学年同士がペアを組み校内の清掃を実施した。</li> <li>運動会、体育大会は学部開催であったため、総練習、当日など他学部の児童生徒が積極的に応援に行き、頑張っている姿を参観することができた。</li> </ul>
【地域】関係づくり	地域をつながり、地域を推し進める活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学部の環境教育の目標に沿った学習と、学部学年が上がるごとに発展性がある取り組みが計画されている。</li> <li>地域とつながり、連携した環境学習が展開できている。</li> </ul>	<p>&lt;総務&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境教育に関する授業実践や話し合いができたと答えた教員100%</li> </ul> <p>&lt;学部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学年の実態に応じて、環境教育を実践した。</li> <li>校区内の公園に出掛けたり、海岸清掃をしたり、作業学習で育てた野菜をかきこやで調理し販売したりした。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学期1回グループワークを行い、環境教育について理解を深めることができた。授業で使用する教材を用意することもできた。</li> <li>年間計画に位置付けていく。</li> </ul>

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
【地域】関係づくり	地域を知り、地域を考え、地域とつながる活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民との交流が生まれ、地域資源を活用した学習活動ができている。</li> </ul>	<p>&lt;学部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学部の実態に応じて、地域に出ていく学習を計画的に取り組むことができた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防署やごみ処理場に出掛け、公共施設の仕組みについて教えてもらった。(小・中)</li> <li>作業製品の販売や、店舗の窓清掃に取り組んだ(高)</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>支援が必要なケースを正しく把握し、各機関等とつながりながら児童生徒や保護者の願いに寄り添う支援をしている。</li> <li>家庭や地域へ分かりやすくタイムリーな情報発信ができている。</li> <li>校内作品展や校外作品展、ホームページ上の作品展等を計画的に開催し、来場者の意見を集約及び校内で共有できている。</li> </ul>	<p>&lt;特別支援課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>支援区分表を活用して、学部・学年間で支援の共有をすることや、必要に応じて関係機関とつながりを持ち支援できていると答える教員 98%</li> </ul> <p>&lt;学習指導課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページやコクーを使い分けながら情報を発信する。</li> </ul> <p>&lt;総務課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品展の作品募集や搬入・搬出を計画的に行う。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援区分表は、手順を分かりやすく提示し依頼をしたところで必要な時期に学年、学部での検討や情報共有ができた。</li> <li>ホームページやコクーを使い分けながら情報を発信した。</li> <li>より多様な発信を考えていく。</li> <li>多くの児童生徒の作品が出展できるよう計画的に作品展に出展した。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒が互いを知り合い、その中で自らを表現できる活動内容になっている。</li> </ul>	<p>&lt;特別支援課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒自らが互いを知り合いその中で自らを表現できる活動を設定できたと答える教員 100%</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前の打合せを丁寧に行うことで、直接交流で互いを知り合い、活動をすることができた。</li> <li>今後も事前の打合せを行っていく。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の幼保園や小中高からの依頼に対して必要なサポートをすることができている。</li> </ul>	<p>&lt;特別支援課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の幼保園や小中高からの依頼に対して必要なサポートをすることができていると答える。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修会や高等学校への訪問等でコーディネーター同士のつながりができている。</li> </ul>

(2) 令和7年度の取組目標・達成方法・成果目標

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
【笑顔】環境づくり	安全で安心な学校生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害に備える減災の取り組み</li> <li>・自ら動く迅速な避難行動</li> <li>・避難生活を見据えた体験活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難生活を見据えた備蓄品の定期的な点検、避難生活想定研修が実施されている。</li> <li>・危機管理マニュアルの見直し 年 1 回以上</li> <li>・様々な発災時に必要な避難行動を、訓練時に自ら行うことができている。</li> <li>・避難生活に見通しをもてる体験活動を複数組み合わせ実施している。</li> </ul>	防災各学部
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・病気や事故等を未然に防ぐ行動、活動、環境づくりと、緊急時の迅速な対応</li> <li>・栄養教諭と連携した食育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒が校内外で事故やけが、病気から身を守る行動がとれている。</li> <li>・常に事故や危険防止の視点をもって環境を整えている教員 100%</li> <li>・緊急時に自分がとるべき行動を理解している教員 90%</li> <li>・児童生徒が食に関心をもち、マナーを守って食事することができている。</li> </ul>	体育保健生徒指導各学部
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な学校生活の視点での校舎内外の安全点検と整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務部との情報共有により校内で早期に対応する環境整備ができている。</li> </ul>	総務事務部
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育を中心とした道徳教育の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒が、命の大切さを知り、自分や周囲の人を大切にしている。</li> <li>・人権教育全体計画や道徳教育全体計画に基づいた授業の充実が図れたと答える教員 100%</li> </ul>	生徒指導各学部
	専門性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共に高めあう研修一人一授業ペア研の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア同士で互いの授業を見合うことで、主体的に授業づくりに取り組み、授業改善を行うことができた教員 100%</li> </ul>	研修各学部
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家等を招いた各種研修や校外研修等による様々な専門性の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部専門家等による研修を実際の指導場面等に生かすことができた教員 100%</li> <li>・教員育成指標の段階に応じた研修により、専門性を高められたと感じる職員 80%</li> </ul>	防災 研修学指 体保 進路 全職員
	働きがいのある職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業づくりや業務についての気軽な雑談相談</li> <li>・分掌課長、学年主任者等で取り組む「やりがい向上委員会」実施</li> <li>・計画的な業務の遂行による適正な時間外勤務の実行（月 45 時間 年間 360 時間以内）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の気軽な会話が、より良い授業づくりや円滑な業務の遂行につながった職員 100%</li> <li>・業務改善や教員のやりがい向上につながる取り組みを行うことができた。学年、分掌、各 1 ずつ</li> <li>・常時 19 時、定時退勤日 17 時 30 分施錠と残留希望申し出(上限 1 時間)の徹底がされている。 100%</li> </ul>	管理職 部主事 分掌課長 全職員

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署	
【仲間】活動づくり	仲間との学びの中で、主体性を発揮できる授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立活動をベースとした個別の指導計画に基づいた、PDCAサイクルによる授業づくりと教育課程への反映</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒個々の自立活動や個別の目標に沿った活動内容と指導・支援が組まれている。</li> <li>個別の指導計画が授業の計画・反省時に活用され、児童生徒の育ちにつながっている。</li> <li>授業づくりの評価に基づき、教科間のつながりや学習の積み上げの視点で、年間指導計画や教育課程の見直しができています。</li> </ul>	学習指導 教務 各学部	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>合わせた指導を構成する各教科等の学習内容を踏まえた授業づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元に含まれる各教科の学習内容を具体化し、それを受けて単元目標を設定することができた。</li> </ul>	研修 各学部	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>より深い学びにつながる、校内外における様々な体験的活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験的活動をとおり、児童生徒がワクワク(期待感と意欲)している姿が増えたり、仲間との関係が深まったりしている。</li> </ul>	各学部	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリア発達に応じた授業実践とキャリアパスポートの考え方の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリア教育の内容を意識し、キャリア発達に応じた授業を実践した教員 100%</li> <li>本校における 12 年間をつなぐキャリアパスポートが整理され押さえられている。</li> </ul>	進路指導 各学部	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>情報機器の適切な取扱と ICT 活用授業の充実</li> <li>ICT 活用の授業実践の研修や実践事例の紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一台端末や BYOD 等を活用した、児童生徒が主体的で深い学びにつながる授業を、すべての児童生徒に対し、年 2 回以上実施している。</li> </ul>	学習指導 各学部	
	豊かな日常生活を育む活動づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯にわたる余暇活動につながる読書・生涯スポーツ・音楽・美術等の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活年齢や発達段階に合わせた余暇につながる活動に、児童生徒が興味をもって自ら取り組んでいる。</li> <li>家庭での取り組みへの呼びかけを実施。</li> </ul>	学習指導 体育保健 各学部	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>学年、学部を超えて仲間を認め合える活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集会やペア学年との活動をとおり、他学部や他学年の児童生徒とあいさつを交わし合うことができるようになっている。</li> <li>体育的行事や学習発表会の中でお互いの活動を知り応援することができている。</li> </ul>	生徒指導 体育保健 学習指導 各学部	
	【地域】関係づくり	地域を知り、地域を考えた、地域とつながる活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校周辺の環境を知り、SDGs の視点をもって積極的に地域とつながり働きかける学習活動の充実 (研究指定)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学部間の系統性がある環境教育の目標と計画をもとに、学部の実態に合った環境教育が実践されている。</li> <li>地域とつながり、連携した環境学習が展開できている。</li> </ul>	各学部 総務
			<ul style="list-style-type: none"> <li>地域や学校運営協議会と連携した教育活動の拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民との交流が生まれ、地域資源を活用した学習活動ができている。</li> </ul>	各学部
			<ul style="list-style-type: none"> <li>「個別の教育支援計画」を活用した支援体制づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援が必要なケースを正しく把握し、各機関等とつながりながら児童生徒や保護者の願いに寄り添う支援をしている。</li> </ul>	特別支援 各学部

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
【地域】 関係づくり	地域を知り、地域とつながる活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS、COCOO, HP 等による発信方法、内容の充実と即時の発信</li> <li>・計画的な作品展開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭や地域へ分かりやすくタイムリーな情報発信ができています。</li> <li>・校内作品展や校外作品展、ホームページ上の作品展等を計画的に開催しています。</li> </ul>	学習指導 各学部 総務
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流籍交流及び学校間交流の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒が互いを知り合い、その中で自らを表現できる活動内容になっている。</li> </ul>	特別支援 各学部
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・センター的機能を発揮した就学前、小中高との連携と支援の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の幼保園や小中高からの依頼に対して必要なサポートをすることができている。</li> </ul>	特別支援
デジタルプラットフォームの活用		<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルプラットフォーム構築に向けた組織的取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルプラットフォームの効果的な活用に向けての準備が整っている。 (教務 生徒 進路 体保 特支 学習)</li> </ul>	○教務 関係分掌

4 監査対象期間における特色ある取組

年度	取組概要	成果及び課題
令和6年度	○災害に備える減災の取り組み	<防災課・各学部> ・避難生活を見据えた備蓄消耗品の定期的な点検と計画的な購入を行った。夏季の研修会では、避難生活想定研修を全教職員で実施した。危機管理マニュアルを活用しながら災害時の役割分担を確認することができた。
	○OJTを目的とした一人一授業研の実施	<研修課・各学部> ・本年度も指導カードを基にした一人一授業を実施し、中堅研を終えた教員が助言を行う研修を行った。授業について話し合う機会が増えたり、他の授業でもアドバイスを生かし、支援に工夫をしたりすることができた。ただ、中堅研対象の教員が授業を抜けにくく、授業を参観する工夫が必要であった。
	○教職員の強みや経験を生かした役割分担	<管理職・各学部・各分掌・全職員> ・適材適所の人事配置の工夫や困ったときに相談しやすい雰囲気づくりに取り組んだ。自分らしさを発揮できたと90%の職員が答えている。得意分野を発揮しながら、困った時には話し合いを行い、問題解決に向かうことができた。
	○自立活動をベースとした個別の指導計画に基づいた、PDCAサイクルによる授業づくりと教育過程への反映	<学習指導課> ・年度当初、個別指導計画について説明会を実施したため、本校の書き方について周知することができた。児童生徒個々の自立活動や個別の目標が、複数の教員の視点から立てられるよう個別検討週間を活用し、話し合いを行った。1年が終わったところで、次年度に向けての個々の目標や年間指導計画を見直すことができた。
	○生涯にわたる余暇活動につながる読書・生涯スポーツ・音楽・美術等の充実	<学習指導課・保健体育課・各学部> ・児童生徒の興味が広がるような書籍の充実を図ったり、生涯スポーツとして取り組めるような種目を体育の授業に取り入れたりした。中学部のダンス指導者研修では、生徒自らがダンスを創作していくうえでのコツを教わり、体育大会でのダンス発表に取り入れることができた。また、湖西市の美術展や肢体不自由美術展にも作品を応募し、賞をいただくなど、創作活動の励みとすることができた。
	○学校周辺の環境を知り、SDGsの視点をもって積極的につながり働きかける学習活動の充実	<各学部・総務課> ・本校周辺の自然、環境について職員で研修を行い、各学部の環境教育の目標に沿った学習が取り組めるか話し合いを行った。児童生徒昇降口には、本校周辺に生息している動植物を子供達の手で掲示できるようにした。

年度	取 組 概 要	成 果 及 び 課 題
令和7年度	○避難生活を見据えた体験活動の実施	<p>&lt;防災課・各学部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自身や大雨、火災を想定した避難訓練の後、様々な避難生活を見据え、寝袋体験、スモーク体験を行った。避難訓練は、発災の放送がかかると児童生徒は教員の指示に従い速やかに避難することができた。訓練の積み重ねを感じる。今後は、非常食体験や保護者引き渡し訓練、スクールバス避難訓練など今後想定される訓練を実施していく。</li> </ul>
	○共に高めあう研修一人一授業ペア研の実施	<p>&lt;研修課・各学部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ学部内でペアを組み、指導カードを基に授業を行う。改まった形ではなく相談したい時に相談し、授業後も感想やアドバイスを伝えることを行っていく。ペア研の時だけでなく、他の授業の時にも相談に乗れるような環境づくりにも取り組む。</li> </ul>
	○分掌課長、学年主任者等で取り組む「やりがい向上委員会」実施	<p>&lt;管理職・部主事・学年主任・分掌課長&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうしたらやりがいをもちながら働くことができるか小グループに分かれて話し合いを行った。話し合いの中で、モチベーションを保ちながら仕事をするには、自分自身も褒められたり、行ったことを認められたりすることが嬉しいという意見が出たため、「褒め合おう、認め合おう」を合言葉に取り組んでいく。</li> </ul>
	○キャリア発達に応じた授業実践とキャリアパスポートの考え方の整備	<p>&lt;進路指導課・各学部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学部会の中で、キャリア教育についてミニ研修を行った。12年間をつなぐキャリアパスポートが整理され目標が押さえられるよう、他校の実践を参考にしながら進路指導課を中心に進めていく。</li> </ul>
	○学校周辺の環境を知り、SDGsの支店をもって積極的に地域とつながり働きかける学習活動の充実	<p>&lt;各学部・総務課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究指定2年目の年となる。昨年度、本校周辺の環境について再確認し、どのような授業に取り組めるか話し合いを行った。それを基に今年度は実践の年とする。実践の中で、児童生徒の心の成長、SDGsへの取組、地域とのつながりなどに視点を当てどのような活動ができるかを考え実践する。</li> </ul>

5 教職員について

(1) 令和6年度異動状況

職名 区分	本務職員											臨時・会計年度任用職員							合計				
	教育職員						行政職員					本務計	教諭(任期付)	教諭(臨時)	養護教諭(臨時)	非常勤講師(看護)	非常勤講師	非常勤嘱託員		非常勤労務職員	臨時計		
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	栄養教諭	小計	事務長	主査	主任	主事											小計	
転出者	1			9			10	1				1	11	1	3							4	15
退職者				1			1						1		1							1	2
転入者				8	1		9		1	1		2	11	2	1							3	14
新任者		1		3			4						4	3							3	6	10
差引増減	△1	1		1	1		2	△1	1	1		1	3	4	△3						3	4	7

(2) 現員数

(令和7年7月31日現在)

区分	本務職員											臨時・会計年度任用職員							合計	
	教育職員						行政職員					本務計	教諭(任期付)	教諭(臨時)	非常勤嘱託員	非常勤労務職員	校医、薬剤師	健康管理医		臨時計
	校長	副校長	教諭	養護教諭	栄養教諭	小計	事務長	主査	主任	小計										
現員数	1	1	60	2	1	65	1	2	1	4	69	8	7	3	5	6	1	30	99	

(3) 健康管理について

ア 健康管理の推進

- ① 定期健康診断の全員受診を推進し、疾病の早期発見に努める。
- ② 精密検査や治療等の事後措置を徹底させ、各自の健康管理を促す。
- ③ 職員安全衛生委員会を毎月実施し、健康管理医の指導助言を受けながら、安全衛生の向上を図る。
- ④ 腰痛検診の対象となった職員が全員受診し、各自に適した腰痛予防推進に努める。

イ 健康診断の実施項目

(令和7年7月31日現在)

項目	対象者	対象者数	受診者数
結核検診	全職員（指定年齢検診・人間ドック受診者及び特別休暇中の職員は除く）	34人	28人
生活習慣病予防検診		34人	3人
指定年齢検診	40・45・50・55・59歳	9人	3人
人間ドック	35・38・41～44・46～49・51～54・56～58・60歳以上の希望者	26人	3人
婦人科検診	20歳以上偶数年齢（指定年齢検診・人間ドック受診者は除く）	16人	5人

(4) 教職員の研修について

目的	取組内容	成果と課題
ア 研修課による校内研修  学校教育目標の具現化に向けて、魅力ある授業づくりと指導力向上を目指す。	令和6年度 ○研究のメインテーマは継続3年目となる。昨年度までの成果や課題を踏まえ、児童生徒のあらわれから支援方法を検証していく。 ○4グループで研究を進め、各グループ年1回公開授業研究を実施する。	・4月の全体研修の中で昨年度に引き続き、見取りについて共通理解を図った。見取り、解釈、授業の見直しを繰り返し行うことで、子どものより深い学びを実感する姿を引き出し、一人ひとりの育ちにつながることができた。 ・あらわれについて、多くの視点からの解釈を行うことができ、課題や目標に対する改善点などを教員間で共有して評価を行うことができた。 ・授業の学びを他の場面でも深める視点をもつことができた
	令和7年度 ○学習内容を明確にした単元目標を設定するために、各教科の見方・考え方を取り入れ、合わせた指導について研修していく。 ○4グループで研究を進め、各グループ年1回公開授業研究を実施する。	・学習指導要領から、単元で育てたい力に関連する各教科等やその学習内容を明確にし、単元の評価規準を3観点で立てることについて、研修を進めることができた。
イ 外部講師を招聘した講演会・学習会の開催  教員の資質や専門性の向上を図る。	令和6年度 【学習指導課】 ○6月5日 第1回指導法研修会 10月9日 第2回指導法研修会 講師：静岡大学 香野 毅氏  【生徒指導課】 ○7月23日 「人権研修」 講師：静岡県人権啓発センター 鈴木 利弘 氏	【学習指導課】 ・各学部、事例児を抽出し、授業参観後にアドバイスをいただき、今後の指導への参考となった。  【生徒指導課】 ・人権教育の歴史から人権を意識した関わり方などについて理解を深めた。今後、児童生徒、同僚などと接するとき、相手を思いやる態度など、考えさせられることが多々あった。

目的	取組内容	成果と課題
<p>イ 外部講師を招聘した講演会・学習会の開催</p> <p>教員の資質や専門性の向上を図る。</p>	<p>令和7年度</p> <p>【研修課】 ○8月1日「はごろも『夢』講演会」 講師：児童発達支援センター エンジョイ・ウェルヴィレッジ センター長 志村 浩二氏</p> <p>【学習指導課】 ○8月6日「自立活動講演会」 講師：国立特別支援教育総合研究所研究 所発達障害教育推進センター 主任研究員 柘植 美文氏</p>	<p>【研修課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童虐待に対してアビューズとネグレクトの分類の説明と、そのトラウマからくる関連障害について講演いただいた。愛着障害の増えている現状から支援についてヒントをいただくことができた。</li> </ul> <p>【学習指導課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知的障害教育における自立活動の指導について話を伺った。学校生活全体で取り組む自立活動と時間の自立活動で取り組む活動内容についてや、実態把握からどう目標、活動内容を考えていくかを学ぶことができた。</li> </ul>
<p>ウ 分掌課主催の研修</p> <p>職員の希望やニーズを踏まえ、教員の専門性や資質の向上を図る。</p> <p>ウ 分掌課主催の研修</p>	<p>令和6年度</p> <p>【防災課】 ○4月3日「職員避難訓練」</p> <p>○7月25日「防災研修」 講師：西部地域局 静岡県浜松土木事務所</p> <p>【生徒指導課】 ○4月5日「職員緊急捜索訓練」</p>	<p>【防災課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年のことではあるが、新年度開始前に、主な活動場所から二次避難場所までの経路を実際に移動し、発災時の動線を確認した。あわせて人員点呼の方法、連絡手順の確認もした。</li> <li>・IDEAを活用した災害起こった場合を想定してのシュミレーション訓練を行った。本校は土砂災害警戒区域に指定されているため、情報収集は必須である。PTA 防災部が研修を見学した。</li> </ul> <p>【生徒指導課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初毎年必ず行う訓練である。第1次捜索から第3次捜索までの各職員の役割と連絡体制を訓練した。本校周辺は見通しの悪い農道や防砂林があるため、実地訓練は欠かせない。</li> </ul>
<p>職員の希望やニーズを踏まえ、教員の専門性や資質の向上を図る。</p>	<p>令和7年度</p> <p>【体育保健課】 ○8月5日「摂食研修」 講師：浜圧医療センター 歯科医 配島 桂子氏</p> <p>【生徒指導課】 ○8月6日「不審者対応研修」 講師：湖西警察署生活安全課署員</p>	<p>【体育保健課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・摂食の基本的な知識についてや口腔機能だけでなく、身体や手指の使い方といった、様々な方向からのアプローチが必要であることについて学ぶことができた。</li> </ul> <p>【生徒指導課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員役、生徒役に分かれ、不審者が校内に侵入した時の対応を訓練した。訓練後、助言をいただき、対応の仕方について学んだ。</li> </ul>

## 6 防災対策について

災害・非常時に備えて定期的に避難訓練を行い、安全について理解し、適切な行動がとれるように指導する。また、避難後の避難所生活を考慮した避難後訓練の実施も検討していく。

本校の防災体制及び災害発生時の対応について、防災計画書や危機管理マニュアルを見直し、教職員間で共通理解を図り、その対応に万全を期す。

地震や火災、土砂災害発生時、下校時に地震が発生した場合の避難訓練を行う。

<地震・防災訓練等実施状況>

年度	期 日	内 容	対象者
令和6年度	4月19日	南海トラフ地震を想定した避難訓練	児童生徒 教職員
	4月30日	湖西市に大雨による避難勧告が発令された	児童生徒 教職員
	5月29日	火災を想定した避難訓練（新校舎1階厨房から出火） ※消防署員立ち合い	児童生徒 教職員
	7月10日	避難訓練（震度5以上）、安否確認メール訓練	児童生徒 教職員 保護者
	9月3日	南海トラフ大地震を想定した避難訓練 保護者引渡し訓練	児童生徒 教職員 保護者
	11月27日	避難訓練（下校時の避難）	児童生徒 教職員 保護者
	1月	南海トラフ大地震を想定した避難訓練（非通知）	児童生徒 教職員
令和7年度	4月17日	南海トラフ地震を想定した避難訓練	児童生徒 教職員
	4月25日	湖西市に大雨による避難勧告が発令された	児童生徒 教職員
	5月26日	火災を想定した避難訓練（新校舎1階厨房から出火） ※消防署員立ち合い スモーク体験	児童生徒 教職員
	7月10日	南海トラフ大地震を想定（土砂崩れの恐れあり） 安否確認メール訓練	児童生徒 教職員 保護者

## 7 学校開放について

<令和6年度>

施設名	利用 日数	利用 人員	利用目的	利用者負担金 (電気料)
プレイルーム	8日	95人	楽器演奏練習、障害者の生活訓練	1,390円
体育館	1日	4人	障害者・高齢者のスポーツ	0円
グラウンド	1日	9人	障害者の陸上競技練習	0円

<令和7年度>

(令和7年7月31日現在)

施設名	利用 日数	利用 人員	利用目的	利用者負担金 (電気料)
プレイルーム	6日	92人	楽器演奏練習、障害者の生活訓練	945円
体育館	3日	4人	障害者・高齢者のスポーツ、陸上 競技練習	1,104円
グラウンド	2日	20人	障害者の陸上競技練習	0円

## 事 務 執 行 の 根 拠 法 令 調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関する こと	教育基本法（第1条、第2条、第6条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第72条、第73条、第74条、第76条、 第77条、第82条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 学校給食法（第4条） 特別支援学校の幼稚部及び高等部における学校給食に関する法律（第3条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立特別支援学校学則 静岡県就学支援委員会規則 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領 特別支援学校高等部学習指導要領
2 学校の管理・運営 に関すること	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） 学校保健安全法（第15条、第27条） 静岡県教育委員会職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県教育委員会処務規程 静岡県教育委員会事務決裁規程 特別支援学校への就学奨励に関する法律（第2条、第3条） 特別支援学校への就学奨励に関する法律施行令 特別支援学校への就学奨励に関する法律施行規則 特別支援教育就学奨励費負担金等及び要保護児童生徒援助費補助金交付要綱 要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱

# 学校施設の概要

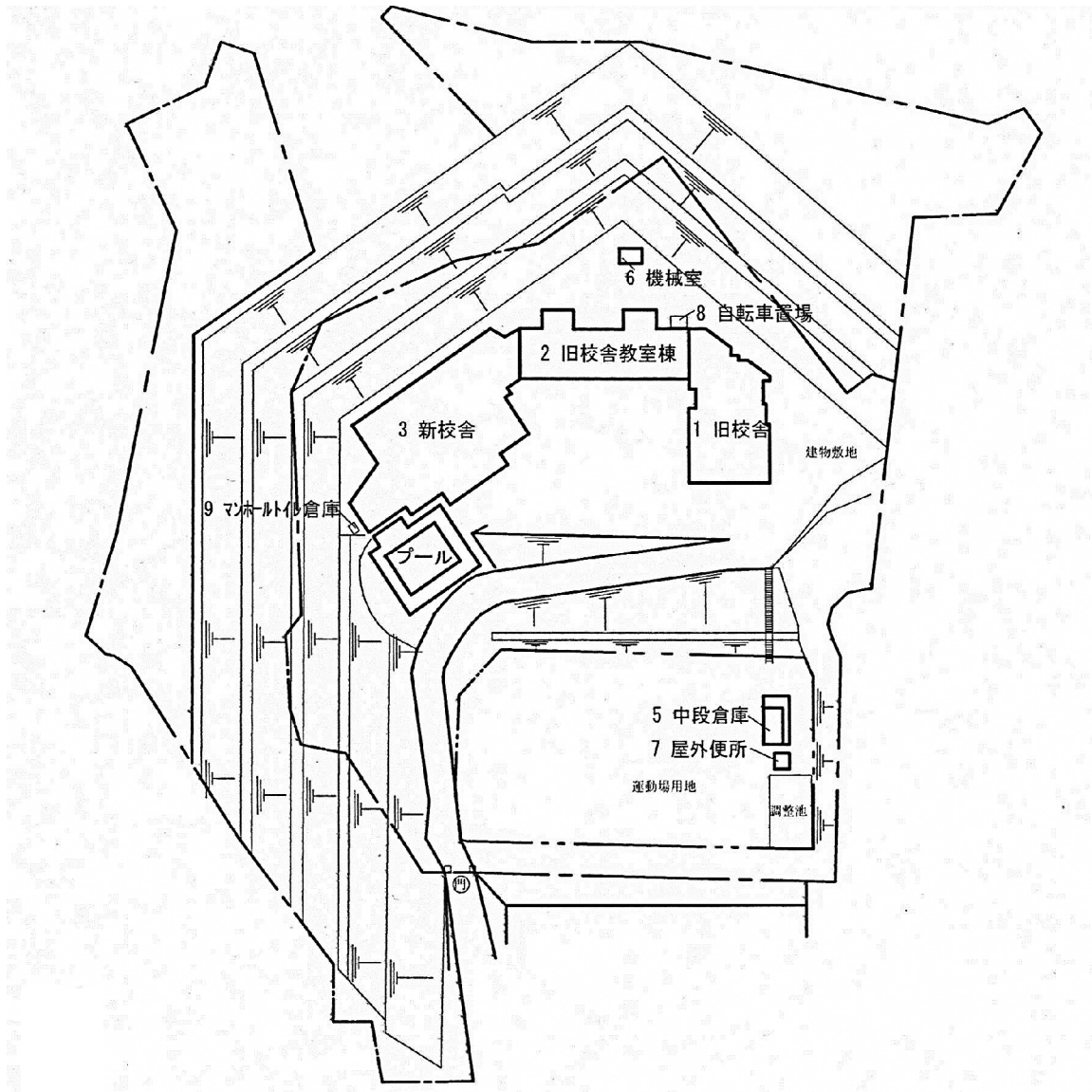
## 1 面積及び所有区分

(令和7年7月31日現在)

区 分	面 積 m <sup>2</sup>	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m <sup>2</sup>	国 有 m <sup>2</sup>	市町村有 m <sup>2</sup>	後援会有 m <sup>2</sup>	民 有 m <sup>2</sup>	
学 校 敷 地	23,750.06			12,276.88		11,473.18	浜名学園組合借地 〔 12,276.88 11,473.18 〕
内 訳	校 舎 敷 地	3,859.03			3,859.03		
	運 動 場 敷 地	2,486.12			2,486.12		
	そ の 他 の 敷 地	17,404.91			5,931.73		11,473.18
校 舎	建 1,710.35	建 1,710.35					
	延 4,995.03	延 4,995.03					
そ の 他 の 建 物	建 117.20	建 117.20					
	延 117.20	延 117.20					
プ ー ル	50.00	50.00					10m×5m

## 2 配置・規模等

### (1) 校舎等の配置図



### (2) 学校施設の規模等 (法面・演習林等を除く)

区 分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当 校	7,024.23 m <sup>2</sup>	4,995.03 m <sup>2</sup>	2,486.12 m <sup>2</sup>
県 平 均	19,266.88 m <sup>2</sup>	6,361.36 m <sup>2</sup>	5,302.07 m <sup>2</sup>

# 在 籍 生 徒 調

( 令 和 7 年 7 月 31 日 現 在 )

学年	学科別		小学部			中学部			高等部					
	区分		男子	女子	計	男子	女子	計	定員	男子	女子	計		
1年	入学者		9	2	11	4	2	6	24	10	4	14		
		増加							24					
		減少												
	現 在		9	2	11	4	2	6		10	4	14		
2年	入学者		5	1	6	5	1	6		24	15	4	19	
		増加							24					
		減少								1	1	2		
	2年時当初		5	1	6	5	1	6		14	3	17		
		増加								18				
		減少												
	現 在		5	1	6	5	1	6			14	3	17	
3年	入学者		11	2	13	5		5			18	10	5	15
		増加							18					
		減少	1	1	2									
	2年時当初		10	1	11	5		5			10	5	15	
		増加								9				
		減少												
	3年時当初		10	1	11	5		5			10	5	15	
		増加									9			
		減少										1		1
現 在		10	1	11	5		5	9				5	14	
4年	入学者		5	4	9									
		増加							9					
		減少												
	2年時当初		5	4	9									
		増加								9				
		減少												
	3年時当初		5	4	9									
		増加									9			
		減少												
	4年時当初		5	4	9									
		増加										9		
減少														
現 在		5	4	9										

# 在 籍 生 徒 調

( 令 和 7 年 7 月 31 日 現 在 )

学年	学科別	小学部			中学部			高等部			
	区分	男子	女子	計	男子	女子	計	定員	男子	女子	計
5年	入学者	11	1	12							
	増加										
		減少									
	2年時当初	11	1	12							
	増加										
		減少	1		1						
	3年時当初	10	1	11							
	増加										
		減少	1		1						
	4年時当初	9	1	10							
	増加										
		減少									
	5年時当初	9	1	10							
	増加										
		減少									
現 在	9	1	10								
6年	入学者	4		4							
	増加										
		減少									
	2年時当初	4		4							
	増加										
		減少									
	3年時当初	4		4							
	増加		1	1							
		減少									
	4年時当初	5		5							
	増加										
		減少									
	5年時当初	5		5							
	増加		1	1							
		減少									
6年時当初	6		6								
増加											
	減少										
現 在	6		6								
合計		44	9	53	14	3	17		33	12	45

## 入学志願者及び入学者数調

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学 科 別		高等部	高等部	高等部	高等部	高等部
生徒定員 (A)		27	33	18	24	24
募集者数 (B)		27	33	18	24	24
志願者数	男	7 (0)	15 (0)	10 (0)	15 (0)	10 (0)
	女	10 (0)	7 (0)	5 (0)	4 (0)	4 (0)
	計 (C)	17 (0)	22 (0)	15 (0)	19 (0)	14 (0)
受検者数	男	7 (0)	15 (0)	10 (0)	15 (0)	10 (0)
	女	10 (0)	7 (0)	5 (0)	4 (0)	4 (0)
	計 (D)	17 (0)	22 (0)	15 (0)	19 (0)	14 (0)
合格者数	男	7 (0)	15 (0)	10 (0)	15 (0)	10 (0)
	女	10 (0)	7 (0)	5 (0)	4 (0)	4 (0)
	計 (E)	17 (0)	22 (0)	15 (0)	19 (0)	14 (0)
志願倍率 (C)/(B)		0.63	0.67	0.83	0.79	0.58
受検倍率 (D)/(B)		0.63	0.67	0.83	0.79	0.58
入学者数	男	7	15	10	15	10
	女	10	7	5	4	4
	計 (F)	17	22	15	19	14
充足率 (F)/(A)		0.63	0.67	0.83	0.79	0.58

## 卒業生の動向調

区 分		中学部	高 等 部		合 計
			本 科	専攻科	
高等学校 (本科)	全日制				
	定時制				
	通信制				
特別支援学校高等部		8			8
その他高等学校等					
大学等	大学(学部)				
	短期大学(本科)				
	大学・短大の通信教育学部等				
	その他大学等				
特別支援学校高等部専攻科					
専修学校(専門課程)					
専修学校(一般課程)・各種学校					
公共職業能力開発施設等					
就 職			2		2
上 記 以 外 ※			19		19
不詳・死亡					
計 (卒業者総数)		8	21		29

(再掲) 「上記以外※」のうち、社会福祉施設等入所、通所者

区 分		中学部	高 等 部		合 計
			本 科	専攻科	
児童福祉施設					
障害者支援施設			17		17
(うち就労系支援事業利用者)		( )	(11)	( )	(11)
医療機関					
計			17		17

## 生徒の状況

### 1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (令和7年7月31日現在) (単位:人)

市町名	湖西市	浜松市中央区	合計
生徒数	74	41	115
構成比%	64.4%	35.6%	100%

(2) 通学方法 (令和7年7月31日現在) (単位:人)

区分	スクールバス	交通機関	自転車	自家用車	徒歩	合計
生徒数	58	18	6	29	4	115
構成比%	50.4%	15.7%	5.2%	25.2%	3.5%	100%

### 2 部(クラブ)の加入状況

(令和7年7月31日現在) (単位:人)

区分	中 学 部				高 等 部			
	運動部	文化部	未加入者	計	運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数	0	0	/	0	1	1	/	2
男子	1年	0	4	4	1	1	8	10
	2年	0	5	5	4	1	9	14
	3年	0	5	5	6	0	3	9
	計(A)	0	14	14	11	2	20	33
	構成比	0%	100%	100%	33.3%	6.1%	60.6%	100%
女子	1年	0	2	2	0	1	3	4
	2年	0	1	1	0	0	3	3
	3年	0	0	0	0	1	4	5
	計(B)	0	3	3	1	1	10	12
	構成比	0%	100%	100%	8.3%	8.3%	83.4%	100%
合計(A+B)	0	17	17	12	3	30	45	
構成比	0%	100%	100%	26.7%	6.7%	66.6%	100%	

3 障害別児童生徒数

(令和7年7月31日現在) (単位：人)

区 分		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合 計	学級数
小学部	単一障害	7	5	8	7	6	3	36	9
	重複障害	4	1	3	1	3	3	15	5
	肢体重複	0	0	0	1	1	0	2	2
	合計	11	6	11	9	10	6	53	16
中学部	単一障害	5	4	4	/	/	/	13	3
	重複障害	0	1	1	/	/	/	2	1
	肢体重複	1	1	0	/	/	/	2	1
	合計	6	6	5	/	/	/	17	5
高等部	単一障害	12	14	14	/	/	/	40	6
	重複障害	1	2	0	/	/	/	3	2
	肢体重複	1	1	0	/	/	/	2	2
	合計	14	17	14	/	/	/	45	10

4 起因疾患別児童生徒数

(令和7年7月31日現在) (単位：人)

区 分	脳性	染色体	自 閉	筋原性	起因不明	その他	計
小学部	2	8	29	0	14	0	53
中学部	1	6	7	0	3	0	17
高等部	1	9	24	0	10	1	45
計	4	23	60	0	27	1	115

特別支援学校における生産物売払調

令和7年度

(令和7年7月31日現在)

主な生産品目			
7 年 度	<農作物・園芸品> なす、きゅうり		
	①売払金額	6,080 円	②前年度との差額 △101,145 円
6 年 度	<手芸品・工作物> 小物入れ、ミニ筒飾り、コースター（木）、ビーズストラップ、鍋敷き 巾着、掲示板 <農作物・園芸品> じゃがいも、大根、ナス、ピーマン、さつまいも、ブロッコリー、水菜 ほうれん草、桜チップ <陶芸品> ミニ皿、小皿、中皿、大皿、箸置き、植木鉢		
	①売払金額	107,225 円	②前年度との差額 32,634 円
5 年 度	<手芸品・工作物> 小物入れ、ミニ筒飾り、コースター（木）、花瓶、カトラリーケース、 マグネット、キーホルダー、コースター、エコバック <農作物・園芸品> じゃがいも、大根、ナス、ピーマン、さつまいも、ブロッコリー、水菜 桜チップ <陶芸品> 小皿、ミニ皿2枚セット、中皿、正方形皿、八角形皿、碗		
	①売払金額	74,591 円	②前年度との差額 △5,492 円

## 預 金 調

(令和7年7月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口 座 名 義 人	残 高 (円)	摘 要
静岡銀行新居支店	無利息型 普通預金	0350042	静岡県立浜名特別支援学校 資金前渡者校長 村田 健二	0	給与等振込み用
静岡銀行新居支店	無利息型 普通預金	0477928	(自振口)静岡県立浜名特別支援学校 資金前渡者校長 村田 健二	0	公共料金等引き 落とし用
静岡銀行新居支店	普通預金	0353381	静岡県立浜名特別支援学校 代理受領者校長 村田 健二	0	児童、生徒就学 奨励費振込み用
残 高 合 計				0	

## 郵 券 等 受 払 調

(令和7年7月31日現在)

(単位：枚、円)

区 分	種 類	令和6年度						令和7年度						摘 要		
		繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出			差引現在高	
		枚数	金 額	枚数	金 額	枚数	金 額	枚数	金 額	枚数	金 額	枚数	金 額		枚数	金 額
郵 券	10円券	16	160	40	400	19	190	37	370	0	0	2	20	35	350	通信連絡 用
	20円券	0	0	20	400	7	140	13	260	0	0	6	120	7	140	
	26円券	0	0	27	702	9	234	18	468	0	0	3	78	15	390	
	84円券	55	4,620	0	0	37	3,108	18	1,512	0	0	3	252	15	1,260	
	100円券	23	2,300	30	3,000	18	1,800	35	3,500	0	0	4	400	31	3,100	
	120円券	21	2,520	0	0	21	2,520	0	0	0	0	0	0	0	0	
	320円券	4	1,280	0	0	2	640	2	640	0	0	2	640	0	0	
	レターバック ライト430円	0	0	1	430	1	430	0	0	0	0	0	0	0	0	
計			10,880		4,932		9,062		6,750		0		1,510		5,240	

## 材 料 品 受 払 調

(令和7年7月31日現在)

区分 品名	令和6年度						令和7年度						摘 要		
	繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出			差引現在高	
	数量	金 額	数量	金 額	数量	金 額	数量	金 額	数量	金 額	数量	金 額		数量	金 額
桧 材 (1200×18×18)	0本	0	30本	10,740	30本	10,740	0本	0	0本	0	0本	0	0本	0	0
無垢材 (910×18×18)	0本	0	30本	5,340	30本	5,340	0本	0	0本	0	0本	0	0本	0	0
陶芸粘土 (水ひ土白)	0袋	0	6袋	25,740	6袋	25,740	0袋	0	0袋	0	0袋	0	0袋	0	0
陶芸粘土 (水ひ土赤)	0袋	0	2袋	8,580	2袋	8,580	0袋	0	0袋	0	0袋	0	0袋	0	0
計		0		50,400		50,400		0		0		0		0	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					令和5年度	令和6年度	うち、令和5年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般	11 教育費	02 教育委員会費	03 教育管理費		円 297,000	
	一般	11 教育費	05 高等学校費	02 高等学校管理費		271,814	
	一般	11 教育費	07 特別支援学校費	02 特別支援学校管理費		26,490,455	
	一般	11 教育費	08 学校教育費	04 健康体育費		13,705,145	
計					45,729,642	40,764,414	0
(14) 工事請負費	一般	11 教育費	02 教育委員会費	03 教育管理費		522,500	
計					682,000	522,500	0
(16) 公有財産購入費					0	0	
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般	11 教育費	07 特別支援学校費	02 特別支援学校管理費		125,400	
計					9,813,080	125,400	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般	11 教育費	07 特別支援学校費	02 特別支援学校管理費		67,600	
計					52,500	67,600	0
(21) 補償、補填及び賠償金					0	0	
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年7月31日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
						うち、令和6年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般	11 教育費	05 高等学校費	02 高等学校 管理費	円 72,519	/
	一般	11 教育費	07 特別支援 学校費	02 特別支援 学校管理費	4,580,711	
	一般	11 教育費	08 学校教育費	04 健康体育費	3,374,337	
計					8,027,567	0
(14) 工事請負費	一般	11 教育費	02 教育委員会 費	03 教育管理費	0	/
計					0	0
(16) 公有財産 購入費					0	/
計					0	0
(17) 備品購入費	一般	11 教育費	07 特別支援 学校費	02 特別支援 学校管理費	846,670	/
計					846,670	0
(18) 負担金、補助 及び交付金	一般	11 教育費	07 特別支援 学校費	02 特別支援 学校管理費	33,000	/
計					33,000	0
(21) 補償、補填 及び賠償金					0	/
計					0	0

委託料に関する調

(令和6年度)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 通学バス輸送業務委託	巴観光(株)	円 70,001,184	円 39,728,700	円 0	円 39,728,700	一般	R5.4.1 ～ R8.3.31	累計金額 R6.5.31 1,024,925 R6.6.28 1,024,925 R6.7.31 1,024,925 R6.8.30 1,024,925 R6.9.30 1,024,925 R6.10.31 1,024,925 R6.11.29 1,024,925 R6.12.26 1,024,925 R7.1.31 1,024,925 R7.2.28 1,024,925 R7.3.31 1,024,925 R7.4.28 1,024,925 小計 12,299,100	円 ( 24,598,200 )	生徒送迎バス 運行 N: 1台	R5長期
2	高等部通学バス輸送業務委託	巴観光(株)	9,651,400	6,520,800	0	6,520,800	一般	R6.4.1 ～ R6.9.30	R6.5.31 1,086,800 R6.6.28 1,086,800 R6.7.31 1,086,800 R6.8.30 1,086,800 R6.9.30 1,086,800 R6.10.31 1,086,800 小計 6,520,800		生徒送迎バス 運行 N: 1台	
3	下半期高等部通学バス輸送業務委託	巴観光(株)	867,900	726,000	0	726,000	一般	R6.9.6 ～ R7.3.21	R6.11.29 135,300 R6.12.26 45,100 R7.1.31 275,000 R7.2.28 135,300 R7.3.31 90,200 R7.4.28 45,100 小計 726,000		生徒送迎バス 運行 N: 1台	
4	スクールバス運行管理業務委託	大新東(株) 静岡営業所	19,008,000	17,820,000	0	17,820,000	一般	R5.4.1 ～ R8.3.31	累計金額 R6.5.31 495,000 R6.6.28 495,000 R6.7.31 495,000 R6.8.30 495,000 R6.9.30 495,000 R6.10.31 495,000 R6.11.29 495,000 R6.12.26 495,000 R7.1.31 495,000 R7.2.28 495,000 R7.3.31 495,000 R7.4.30 495,000 小計 5,940,000	円 ( 11,880,000 )	生徒送迎ス クールバス運 行管理 N: 1台	R5長期
5	給食業務委託	㈱ミカサ	52,101,555	40,150,000	0	40,150,000	一般	R5.8.1 ～ R8.7.31	累計金額 R6.5.31 1,115,400 R6.6.28 1,115,400 R6.7.31 1,115,400 R6.8.30 1,115,400 R6.9.30 1,115,400 R6.10.31 1,115,400 R6.11.29 1,115,400 R6.12.26 1,115,400 R7.1.31 1,115,400 R7.2.28 1,115,400 R7.3.31 1,115,400 R7.4.30 1,115,400 小計 13,384,800		給食調理・配 膳	R5長期
6	可燃物収集運搬処理業務委託	環境保全(株)	単価契約 運搬料 1回2,640円 処分料 1回13.2円	単価契約 運搬料 1回1,815円 処分料 1回13.2円	0	単価契約 運搬料 1回1,815円 処分料 1回13.2円	随契	R6.4.5 ～ R7.3.31	R6.5.31 32,526 R6.6.28 42,924 R6.7.31 39,287 R6.8.30 36,498 R6.9.30 23,520 R6.10.31 33,679 R6.11.29 38,135 R6.12.26 37,281 R7.1.31 37,496 R7.2.28 34,745 R7.3.31 33,425 R7.4.30 43,552 小計 433,068		可燃ごみ収集 運搬処理 週3回	随契1号 (少額) 単価契約 新居高校 湖西高校
7	エレベータ保守点検業務委託	フジテック(株) 静岡支店	790,680	790,680	0	790,680	随契	R6.4.1 ～ R7.3.31	R6.10.31 410,190 R7.4.14 380,490 小計 790,680		エレベータ 保守点検 N: 1台	随契1号 (少額)
8	産業廃棄物収集運搬処理業務委託	㈱星山金属	89,100	89,100	0	89,100	随契	R6.5.21 ～ R7.1.31	R6.7.18 29,700 R6.11.21 29,700 R7.1.23 29,700 小計 89,100		産業廃棄物 収集運搬処分	随契1号 (少額)
9	産業廃棄物(グリス・ラップ等廃油)収集運搬処分業務委託	㈱大洋サービ ス	103,400	103,400	0	103,400	随契	R6.5.27 ～ R6.9.30	R6.9.13 103,400 小計 103,400		産業廃棄物 (厨房グリス トラップ廃油 等)収集運搬 処分	随契1号 (少額)

委託料に関する調

(令和6年度)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
10	産業廃棄物(廃乾電池他)収集運搬及び処分業務委託	㈱ホクセイ	40,766	40,766	0	40,766	随契	R6.10.18 ～ R7.2.28	R6.12.5  小計	40,766  40,766	産業廃棄物(廃乾電池他)収集運搬及び処分業務委託	随契1号(少額)
11	産業廃棄物収集運搬処理業務委託	㈱星山金属	59,400	59,400	0	59,400	随契	R6.12.23 ～ R7.3.31	R7.3.18 R7.4.21  小計	29,700 29,700  59,400	産業廃棄物収集運搬処分	随契1号(少額)
12	産業廃棄物(グリストラップ等廃油)収集運搬処分業務委託	㈱大洋サービス	80,300	80,300	0	80,300	随契	R7.1.14 ～ R7.3.31	R7.4.15  小計	80,300  80,300	産業廃棄物(厨房グリストラップ廃油等)収集運搬処分	随契1号(少額)
	事務関係計	12件								40,467,414		
1	(工事関係)アスベスト及びPCB・鉛他含有調査業務委託	㈱静岡検査センター	334,400	315,700	△18,700	297,000	随契	R6.9.17 ～ R6.12.13	R6.11.21	297,000	旧校舎のアスベスト及びPCB・鉛・クロムの含有調査業務	随契1号(少額)
	工事関係計	1件								297,000		
	合計	13件								40,764,414		
参考1	消防用設備等保守点検業務委託	静岡県消防設備保守点検業協同組合		12,650,000	0	12,650,000		R6.4.1 ～ R7.3.31			消防用設備等の点検業務年2回	浜松商業高校
参考2	プール浄化装置保守業務委託	清化工業㈱		998,800	0	998,800		R6.4.8 ～ R6.12.27			プール浄化装置設備点検年2回 N:1台	浜松東高校
参考3	防鼠防虫業務委託	㈱帝装化成 浜松営業所		551,100	0	551,100		R6.4.15 ～ R7.3.31			点検・生育調査 毎月1回 薬剤散布 年2回	浜松特別支援学校
参考4	自家用電気工作物保安管理業務委託	遠鉄アシスト㈱		2,786,520	0	2,786,520		R6.4.1 ～ R7.3.31			自家用電気工作物定期点検 月次点検5回 年次点検1回	浜松湖東高校
参考5	建築基準法第12条に基づく定期点検業務委託	㈱いま総合設計		3,784,000	0	3,784,000		R6.8.2 ～ R7.2.28			建築基準法第12条に基づく定期点検	湖西高校
参考6	機械警備業務委託	総合警備保障 ㈱静岡支社		3,564,000	0	3,564,000		R元.10.1 ～ R6.9.30			警報機器による警備 侵入、火災の監視 (事務室 他)	湖西高校 R元長期
参考7	機械警備業務委託	総合警備保障 ㈱静岡支社		4,356,000	0	4,356,000		R6.10.1 ～ R11.9.30			警報機器による警備 侵入、火災の監視 (事務室 他)	湖西高校 R6長期
	計	7件										

委託料に関する調

(令和7年度)  
(令和7年7月31日現在)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 通学バス輸送業務委託	巴観光㈱	円 70,001,184	円 39,728,700	円 0	円 39,728,700	一般	R5.4.1 ～ R8.3.31	累計金額 R7.5.30 R7.6.30 R7.7.31 小計	( 27,672,975 ) 1,024,925 1,024,925 1,024,925 3,074,775	生徒送迎バス 運行 N: 1台	R5長期
2	スクールバス 運行管理業務委託	大新東㈱ 静岡営業所	19,008,000	17,820,000	0	17,820,000	一般	R5.4.1 ～ R8.3.31	累計金額 R7.5.30 R7.6.30 R7.7.31 小計	( 13,365,000 ) 495,000 495,000 495,000 1,485,000	生徒送迎ス クールバス運 行管理 N: 1台	R5長期
3	給食業務委託	㈱ミカサ	52,101,555	40,150,000	17,358	40,167,358	一般	R5.8.1 ～ R8.7.31	累計金額 R7.5.30 R7.6.30 R7.7.31 小計	( 25,652,858 ) 1,116,258 1,116,500 1,116,500 3,349,258	給食調理・配 膳	R5長期
4	可燃物収集運 搬処理業務委託	環境保全㈱	単価契約 運搬料 1回2,640円 処分料 1回13.2円	単価契約 運搬料 1回1,980円 処分料 1回13.2円	0	単価契約 運搬料 1回1,980円 処分料 1回13.2円	随契	R7.4.7 ～ R8.3.31	R7.5.30 R7.6.30 R7.7.31 小計	36,154 39,507 42,873 118,534	可燃ごみ収集 運搬処理 週3回	随契1号 (少額) 単価契約 新居高校 湖西高校
5	エレベータ保 守点検業務委託	フジテック㈱ 静岡支店	803,880	803,880	0	803,880	随契	R7.4.1 ～ R8.3.31	R7.5.30 R7.6.30 R7.7.31 小計	36,154 39,507 42,873 118,534	エレベータ 保守点検 N: 1台	随契1号 (少額)
6	産業廃棄物収 集運搬処理業 務委託	㈱星山金属	59,400	59,400	0	59,400	随契	R7.5.19 ～ R7.12.26	R7.5.30 R7.6.30 R7.7.31 小計	36,154 39,507 42,873 118,534	産業廃棄物 収集運搬処分	随契1号 (少額)
7	産業廃棄物 (グリスト ラップ等廃 油) 収集運搬 処分業務委託	㈱大洋サービ ス	103,400	103,400	0	103,400	随契	R7.5.26 ～ R7.9.30	R7.5.30 R7.6.30 R7.7.31 小計	36,154 39,507 42,873 118,534	産業廃棄物 (厨房グリス トラップ廃油 等) 収集運搬 処分	随契1号 (少額)
	事務関係計	7件								8,027,567		
	合計	7件								8,027,567		
参考1	消防用設備等 保守点検業務 委託	静岡県消防 設備保守点検 業協同組合		12,540,000	0	12,540,000		R7.4.1 ～ R8.3.31			消防用設備等 の点検業務 年2回	浜松商業 高校
参考2	プール浄化 装置保守点 検業務委託	清化工業㈱		995,500	0	995,500		R7.4.10 ～ R7.12.26			プール浄化 装置設備点 検年2回 N: 1台	浜松東高 校
参考3	防鼠防虫業務 委託	㈱帝装化成 浜松営業所		668,800	0	668,800		R7.4.15 ～ R8.3.31			点検・生育 調査 毎月1回 薬剤散布 年2回	浜松特別 支援学校
参考4	自家用電気工 作物保安管理 業務委託	遠鉄アシスト ㈱		3,602,280	0	3,602,280		R7.4.1 ～ R8.3.31			自家用電気 工作物定期 点検 月次点検5回 年次点検1回	浜松湖東 高校
参考5	機械警備業務 委託	総合警備保障 ㈱静岡支社		4,356,000	0	4,356,000		R6.10.1 ～ R11.9.30			警備機器に よる警備 侵入、火災の 監視 (事務室 他)	湖西高校 R6長期
	計	5件										

## 負担金支出調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	刈払機取扱い作業 者安全衛生教育講習料 金	(株)静岡県セイブ自動車学校 静岡県セイブリフトスクール	労働省労働基準局長通達 (平成12年2月16日基発第66号)	刈払機取扱い作業 者安全衛生教育講習の実施	円 12,100	R6.5.29
2	全国特別支援学校知的障害教育校長会会費	全国特別支援学校知的障害教育校長会	全国特別支援学校知的障害教育校長会則	知的障害者の教育、特別支援学校の管理・運営に関する調査研究	15,000	R6.7.12
3	湖西地区安全運転管理協会会費	湖西地区安全運転管理協会	湖西地区安全運転管理協会則	安全運転管理体制の充実強化、交通安全に寄与	25,000	R6.7.12
4	第47回全国特別支援学校知的障害教育校長研究大会参加費	全国特別支援学校知的障害教育校長会	開催要項	特別支援教育の向上を図るための研修事業	3,000	R6.7.31
5	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会会費	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会規約	知的障害者の教育、特別支援学校の管理・運営に関する調査研究	5,000	R6.7.31
6	第48回東海地区特別支援学校知的障害教育校長会会費	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会	開催要項	知的障害者の教育、特別支援学校の管理・運営に関する調査研究	3,000	R6.9.6
7	安全運転管理者講習手数料	(一社)静岡県安全運転管理協会	道路交通法第108条の2第1項第1号	安全運転管理者の資質向上及び交通安全に寄与	4,500	R6.10.24
計		7件	/	/	67,600	/

様式第13号

## 負担金支出調

(令和7年度)

(令和7年7月31日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	第48回全国特別支援学校知的障害教育校長研究大会参加費	全国特別支援学校知的障害教育校長会	開催要項	特別支援教育の向上を図るための研修事業	円 3,000	R7.7.14
2	湖西地区安全運転管理協会会費	湖西地区安全運転管理協会	湖西地区安全運転管理協会則	安全運転管理体制の充実強化、交通安全に寄与	25,000	R7.7.18
3	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会会費	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会規約	知的障害者の教育、特別支援学校の管理・運営に関する調査研究	5,000	R7.7.31
計		3件	/	/	33,000	/

## 建 築

整理番号	予算科目	工 事 名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
				円	円	円
1	教育管理費	浜名特別支援学校 旧校舎時計更新工事	湖西市新居町 浜名	554,400	522,500	0
		合 計	1 件	554,400	522,500	0
参考 1	教育管理費	浜名特別支援学校厨 房衛生設備改修工事	湖西市新居町 浜名	3,696,000	3,498,000	0
参考 2	教育管理費	浜名特別支援学校新 校舎外壁修繕他工事	湖西市新居町 浜名	68,189,000	67,980,000	2,299,000
		合 計	2 件	71,885,000	71,478,000	2,299,000

整理番号	予算科目	工 事 名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
				円	円	円
1	教育管理費	浜名特別支援学校 正門更新工事	湖西市新居町 浜名	2,200,000	2,200,000	0
		合 計	1 件	2,200,000	2,200,000	0

# 工 事 調

(令和6年度)

額 計	契約 締結 方法	受注者	着 手 完成(予定) 年 月 日	支出済額	工 事 概 要	公有 財産 台帳	摘 要
円 522,500	随契	大和電気 工業(株)	R6.11.12 R7.1.27	円 522,500	親時計取替1台 子時計取替3台	-	令達 R6.10.24 支払 R7.2.27 随契第1号(少額)
522,500				522,500			
3,498,000	指名	(株)ハマネ ン設備セ ンター	R6.6.13 R6.9.3	3,498,000	1階厨房の既設手 洗器5箇所を更新	-	本庁経理 浜松土木事務所
70,279,000	制限 付 一般	赤堀産業 (株)	R6.7.9 R7.1.27	70,279,000	新校舎外壁修繕他 工事	-	本庁経理
73,777,000				73,777,000			

(令和7年度)

(令和7年7月31日現在)

額 計	契約 締結 方法	受注者	着 手 完成(予定) 年 月 日	支出済額	工 事 概 要	公有 財産 台帳	摘 要
円 2,200,000	随契	山平建設 (株)	R7.7.22 R7.10.31	円	正門取替 1式		令達 R7.7.4  随契第1号(少額)
2,200,000				0			

# 公 有 財 産 調

(令和6年度)

区 分	令和6年3月31日現在		増		減		令和7年3月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 510,495		千円 0		千円 34,233		千円 476,262	
建 物	m <sup>2</sup> 1,827.55 5,112.23	437,817				27,945	m <sup>2</sup> 1,827.55 5,112.23	409,872	
工 作 物	個 78	72,678	個		個	6,288	個 78	66,390	
公有財産に準ずるもの		263		0		0		263	
電話加入権	件 4	263	件		件		件 4	263	

※ 令和7年度 異動なし

# 借 地 借 家 等 調

(令和7年7月31日現在)

整理番号	区 分	種 別	所 在 地	地 目		数量又は面積	借 料		契約期間	所有者又は契約者氏名	用 途
				台帳	現況		単価	年 額			
1	土 地	学校敷地	湖西市新居町 浜名1855-71 外9筆	宅地	学校敷地	m <sup>2</sup> 12,276.88	円	円 無償	R7.4.1 ~ R10.3.31	浜名学園組合 管理者 湖西市長	校舎、 運動場 敷地
2	土 地	学校敷地	湖西市新居町 浜名1855-70 外18筆	山林 畑 原野	学校敷地	m <sup>2</sup> 11,473.18 (3,350.75坪) ( 30.00坪) ( 91.00坪)	円 (450) (600) (950)	円 1,612,284	R7.4.1 ~ R10.3.31	浜名学園組合 管理者 湖西市長	畑
3	土 地	公衆用 道路	湖西市新居町 浜名1855-71	道路	市道	m 3.39		免除	R7.4.1 ~ R17.3.31	湖西市長	排水管
	計					23,753.45 m <sup>2</sup>		1,612,284			

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和7年度)

(令和7年7月31日現在)

区分	事業名又は契約名	内容	契約額	(契約額の年度別内訳)				
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
債務負担行為		(契約日)	円	円	円	円	円	円
長期継続契約	通学バス輸送業務委託	通学バスの輸送 (契約日)R5.4.1	39,728,700	15,130,500	12,299,100	12,299,100		
	スクールバス運行管理業務委託	スクールバスの運行・管理 (契約日)R5.4.1	17,820,000	5,940,000	5,940,000	5,940,000		
	給食業務委託	給食の調理・配膳 (契約日)R5.8.1	40,167,358	8,918,800	13,384,800	13,397,758	4,466,000	
	学校敷地賃貸借	学校敷地の賃貸借 (契約日)R7.4.1	4,836,852			1,612,284	1,612,284	1,612,284

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年7月31日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	建物	事務所建	湖西市新居町浜名1855-71	建物	校舎	m <sup>2</sup> 0.07	円 —	円 免除	R7.4.1 ～ R8.3.31	湖西市長	基準点設置
合計								円 0			

普通財産・借受財産等貸付調

(令和7年7月31日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	湖西市新居町浜名1855-71	土地	学校敷地	m <sup>2</sup> 0.31	円 —	円 無償	R7.4.1 ～ R10.3.31	浜名特別支援学校PTA会長	屋外時計設置
合計								円 0			

## 主 要 備 品 調

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	区 分		品名・規格	利用状況	購入 年月	購入金額 (円)
	大・中	小				
1	01-13	その他の厨房 器具	真空冷却機 三浦工業 CMJ-20QE	年間190日 給食調理に使用	R6.3	4,980,800
2	10-08	その他の芸術 用器具	台車式電気陶芸窯 日陶 NRS-20RF	年間30日 授業(陶芸)に使用	H14.3	2,250,150
3	01-13	加熱器具	スチームコンベクションオーブン iCombi Classic6-1/1	年間190日 給食調理に使用	R6.3	2,171,400
4	02-01	パーソナルコンピ ュータ (一式)	パーソナルコンピ ュータ(一式)他 富士通 ESPRIMO D588/B 他	年間60日 授業・教材	R2.1	1,881,110
5	06-09	木工用機械	軸傾斜横挽丸鋸盤 石津製作所 ISC-1300	年間160日 授業(木工)に使用	H14.3	1,344,000
6	10-99	その他の教育 用器具	遊具「プルルン」 CP-01462	年間200日 体力づくり、昼休み使用	H28.3	1,281,960
7	06-09	木工用機械	自動一面かんな盤 鈴三鉄工所 GN40	年間160日 授業(木工)に使用	H14.3	1,092,000
8	02-01	その他の情報 処理機器	校内LANサーバー一式 HP DL320	年間365日 校内LANに使用	H21.7	793,800
9	01-13	調理器具	ティルディングパン コメットカトウ CSP3-70F	年間190日 給食調理に使用	H24.3	735,000
10	02-01	その他の情報 処理機器	教材用サーバー(校内LAN ファイルサーバー)	年間365日 校内LANに使用	H13.3	719,250
11	01-04	移動書庫	移動書庫 オカムラ N953BL	年間365日 文書保管用	H14.3	673,050
12	06-99	その他の諸 機器	集塵機 ムラコシ HM-5000	年間160日 授業(木工)に使用	H14.3	672,000
13	10-08	その他の芸術 用器具	真空土練機 日陶 NVA-07B	年間30日 授業(陶芸)に使用	H14.3	670,950
14	01-13	食品食器洗淨 機	食器洗淨機 日本洗淨器 SD114EA6	年間190日 給食調理に使用	H24.3	640,500
15	01-13	その他の厨房 器具	湿温蔵庫 ニチワ IHS-1560YAG	年間190日 給食調理に使用	H24.3	635,250
16	01-14	エアコンデ ィション	エアコンディショナ ー ダイキン SZAP80KV	年間100日 冷暖房用	H18.6	588,000
17	10-99	その他の教育 用器具	滑り台 小型ネット付、踊り場高1.3m	年間200日 体力づくり、昼休み使用	H16.11	556,500
18	01-14	エアコンデ ィション	エアコンディショナ ー ダイキン SZYKP80PT	年間100日 冷暖房用	H16.3	554,400
19	10-07	鍵盤楽器	アップライトピアノ ヤマハ YU10	年間60日 授業に使用	H14.3	554,400
20	01-13	ユニットキッ チン	浸漬槽 1200×1200×840	年間190日 給食調理に使用	H14.2	551,250

生産物受払調

(令和7年7月31日現在)

区分	品名(単位)	ミニ皿(枚)				ミニ皿2枚セット(セット)				小皿(枚)				中皿(枚)				
		5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	
単位	(ア)	数量(枚)				数量(セット)				数量(枚)				数量(枚)				
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	0	173	0	173	26	0	0	△26	69	39	0	△30	31	89	0	58	
	計	0	173	0	173	26	0	0	△26	69	39	0	△30	31	89	0	58	
単位数量(イ/ア)																		
同前年比(%) (b-a)/a×100		0.0				△100.0				△43.5				187.1				
払 高	売払数量	0	173	0	173	26	0	0	△26	69	39	0	△30	31	89	0	58	
	売払金額	0	8,650	0	8,650	2,600	0	0	△2,600	4,550	3,900	0	△650	6,200	17,800	0	11,600	
	非売品 数量	分類換				0				0				0				0
		管理換 その他				0				0				0				0
	計	0	173	0	173	26	0	0	△26	69	39	0	△30	31	89	0	58	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要																		

区分	品名(単位)	大皿(枚)				正方形皿(枚)				八角形皿(枚)				箸置き(セット)				
		5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	
単位	(ア)	数量(枚)				数量(枚)				数量(枚)				数量(セット)				
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	0	5	0	5	4	0	0	△4	8	0	0	△8	0	106	0	106	
	計	0	5	0	5	4	0	0	△4	8	0	0	△8	0	106	0	106	
単位数量(イ/ア)																		
同前年比(%) (b-a)/a×100		0.0				△100.0				△100.0				0.0				
払 高	売払数量	0	5	0	5	4	0	0	△4	8	0	0	△8	0	106	0	106	
	売払金額	0	1,250	0	1,250	1,000	0	0	△1,000	1,600	0	0	△1,600	0	10,600	0	10,600	
	非売品 数量	分類換				0				0				0				0
		管理換 その他				0				0				0				0
	計	0	5	0	5	4	0	0	△4	8	0	0	△8	0	106	0	106	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要																		

区分	品名(単位)	碗(個)				植木鉢(個)				コースター(木)(個)				花瓶(個)				
		5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	
単位	(ア)	数量(個)				数量(個)				数量(個)				数量(個)				
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	10	0	0	△10	0	2	0	2	38	199	0	161	2	0	0	△2	
	計	10	0	0	△10	0	2	0	2	38	199	0	161	2	0	0	△2	
単位数量(イ/ア)																		
同前年比(%) (b-a)/a×100		△100.0				0.0				423.7				△100.0				
払 高	売払数量	10	0	0	△10	0	2	0	2	38	199	0	161	2	0	0	△2	
	売払金額	1,500	0	0	△1,500	0	400	0	400	3,800	19,900	0	16,100	400	0	0	△400	
	非売品 数量	分類換				0				0				0				0
		管理換 その他				0				0				0				0
	計	10	0	0	△10	0	2	0	2	38	199	0	161	2	0	0	△2	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要																		

区分	品名 (単位)	ミニ筒飾り (個)				カトラリーケース (個)				小物入れ (プレート付) (個)				小物入れ (トラック) (個)				
		5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	
単位	(ア)	数量 (個)				数量 (個)				数量 (個)				数量 (個)				
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	7	10	0	3	9	0	0	△9	13	0	0	△13	9	0	0	△9	
	計	7	10	0	3	9	0	0	△9	13	0	0	△13	9	0	0	△9	
単位数量 (イ/ア)																		
同前年比 (%) (b-a)/a×100		42.9				△100.0				△100.0				△100.0				
払 高	売払数量	7	10	0	3	9	0	0	△9	13	0	0	△13	9	0	0	△9	
	売払金額	2,100	3,000	0	900	2,700	0	0	△2,700	6,500	0	0	△6,500	5,400	0	0	△5,400	
	非売品	分類換				0				0				0				0
		数量				0				0				0				0
	計	7	10	0	3	9	0	0	△9	13	0	0	△13	9	0	0	△9	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要																		

区分	品名 (単位)	小物入れ (小) (個)				小物入れ (大) (個)				鍋敷き (個)				掲示板 (個)				
		5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	
単位	(ア)	数量 (個)				数量 (個)				数量 (個)				数量 (個)				
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	0	12	0	12	0	7	0	7	0	20	0	20	0	6	0	6	
	計	0	12	0	12	0	7	0	7	0	20	0	20	0	6	0	6	
単位数量 (イ/ア)																		
同前年比 (%) (b-a)/a×100		0.0				0.0				0.0				0.0				
払 高	売払数量	0	12	0	12	0	7	0	7	0	20	0	20	0	6	0	6	
	売払金額	0	2,400	0	2,400	0	2,100	0	2,100	0	6,000	0	6,000	0	1,800	0	1,800	
	非売品	分類換				0				0				0				0
		数量				0				0				0				0
	計	0	12	0	12	0	7	0	7	0	20	0	20	0	6	0	6	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要																		

区分	品名 (単位)	マグネット (セット)				ビーズ・ストラップ・キーホルダー (セット)				コースター2枚セット (セット)				エコバック (袋)				
		5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	
単位	(ア)	数量 (セット)				数量 (セット)				数量 (セット)				数量 (袋)				
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	38	0	0	△38	4	0	0	△4	4	0	0	△4	13	0	0	△13	
	計	38	0	0	△38	4	0	0	△4	4	0	0	△4	13	0	0	△13	
単位数量 (イ/ア)																		
同前年比 (%) (b-a)/a×100		△100.0				△100.0				△100.0				△100.0				
払 高	売払数量	38	0	0	△38	4	0	0	△4	4	0	0	△4	13	0	0	△13	
	売払金額	3,800	0	0	△3,800	600	0	0	△600	400	0	0	△400	3,900	0	0	△3,900	
	非売品	分類換				0				0				0				0
		数量				0				0				0				0
	計	38	0	0	△38	4	0	0	△4	4	0	0	△4	13	0	0	△13	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要																		

区分	品名 (単位)	巾着 (大) (個)				巾着 (小) (個)				ビーズストラップ (個)				桜チップ (袋)				
		5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	
単位	(ア)	数量 (個)				数量 (個)				数量 (個)				数量 (袋)				
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	0	13	0	13	0	12	0	12	0	23	0	23	60	100	0	40	
	計	0	13	0	13	0	12	0	12	0	23	0	23	60	100	0	40	
単位数量 (イ/ア)																		
同前年比 (%) (b-a)/a×100		/				/				/				/				
払 高	売払数量	0	13	0	13	0	12	0	12	0	23	0	23	60	100	0	40	
	売払金額	0	3,900	0	3,900	0	2,400	0	2,400	0	2,300	0	2,300	6,000	10,000	0	4,000	
	非売品 数量	分類換				0				0								0
		管理換 その他				0				0								0
	計	0	13	0	13	0	12	0	12	0	23	0	23	60	100	0	40	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要																		

区分	品名 (単位)	じゃがいも (北あかり) (袋)				じゃがいも (男爵) (袋)				大根 (本)				ナス (本)				
		5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	
単位	(ア)	数量 (袋)				数量 (袋)				数量 (本)				数量 (本)				
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	23	0	0	△23	4	18	0	14	21	26	0	5	188	20	96	△168	
	計	23	0	0	△23	4	18	0	14	21	26	0	5	188	20	96	△168	
単位数量 (イ/ア)																		
同前年比 (%) (b-a)/a×100		/				/				/				/				
払 高	売払数量	23	0	0	△23	4	18	0	14	21	26	0	5	188	20	96	△168	
	売払金額	3,680	0	0	△3,680	400	2,300	0	1,900	1,050	2,900	0	1,850	6,580	700	4,800	△5,880	
	非売品 数量	分類換				0				0								0
		管理換 その他				0				0								0
	計	23	0	0	△23	4	18	0	14	21	26	0	5	188	20	96	△168	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要																		

区分	品名 (単位)	ピーマン (kg)				ピーマン (個)				さつまいも (袋)				さつまいも (本)				
		5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	
単位	(ア)	数量 (kg)				数量 (個)				数量 (袋)				数量 (本)				
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	6.07	0	0	△6.07	0	15	0	15	16	0	0	△16	0	22	0	22	
	計	6.07	0	0	△6.07	0	15	0	15	16	0	0	△16	0	22	0	22	
単位数量 (イ/ア)																		
同前年比 (%) (b-a)/a×100		/				/				/				/				
払 高	売払数量	6.07	0	0	△6.07	0	15	0	15	16	0	0	△16	0	22	0	22	
	売払金額	2,731	0	0	△2,731	0	525	0	525	4,000	0	0	△4,000	0	2,200	0	2,200	
	非売品 数量	分類換				0				0								0
		管理換 その他				0				0								0
	計	6.07	0.00	0	△6.07	0	15	0	15	16	0	0	△16	0	22	0	22	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要																		

区分	品名 (単位)	ブロッコリー (個)				水菜 (袋)				ほうれん草 (袋)				きゅうり (本)				
		5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	
単位	(ア)	数量 (個)				数量 (袋)				数量 (袋)				数量 (本)				
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	17	6	0	△11	14	1	0	△13	0	12	0	12	0	0	32	0	
	計	17	6	0	△11	14	1	0	△13	0	12	0	12	0	0	32	0	
単位数量 (イ/ア)																		
同前年比 (%) (b-a)/a×100		△64.7				△92.9				0.0				0.0				
払 高	売払数量	17	6	0	△11	14	1	0	△13	0	12	0	12	0	0	32	0	
	売払金額	1,700	900	0	△800	1,400	100	0	△1,300	0	1,200	0	1,200	0	0	1,280	0	
	非売品 数量	分類換				0				0				0				0
		管理換 その他				0				0				0				0
	計	17	6	0	△11	14	1	0	△13	0	12	0	12	0	0	32	0	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要																		

区分	品名 (単位)	計				
		5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	
単位	(ア)					
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)					
	計					
単位数量 (イ/ア)						
同前年比 (%) (b-a)/a×100						
払 高	売払数量					
	売払金額	74,591	107,225	6,080	32,634	
	非売品 数量	分類換				
		管理換 その他				
	計					
残高又は繰越数量		0	0	0	0	
摘要						

## 職 員 調

( 令和7年7月31日 現在)

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
1	校 長	村 田 健 二	総括	□□□	□ 年 □ 月	□□□□
2	副 校 長	山 本 恭 子	総括	□□□	□ 年 □ 月	□□□□
3	教 諭	三 井 陽 子	高等部級外	□□□	□ 年 □ 月	□□□□
4	教 諭	村 松 久 二 一	小学部 副部主事	□□□	□ 年 □ 月	□□□□
5	教 諭	藤 田 靖 人	中学部級外	□□□	□ 年 □ 月	□□□□
6	教 諭	疋 田 俊 輔	高等部級外	□□□	□ 年 □ 月	□□□□
7	教 諭	曾 布 川 悦 治	小 4 - 1 ②	□□□	□ 年 □ 月	□□□□
8	教 諭	井 島 裕 之	高等部級外	□□□	□ 年 □ 月	□□□□
9	教 諭	高 木 弘 詠	小学部級外	□□□	□ 年 □ 月	□□□□
10	教 諭	鈴 木 良 江	小 6 学年主任	□□□	□ 年 □ 月	□□□□
11	教 諭	石 田 か お り	中学部 副部主事	□□□	□ 年 □ 月	□□□□
12	教 諭	永 井 真 知 子	中学部 部主事	□□□	□ 年 □ 月	□□□□
13	教 諭	飯 田 佳 代	中 1 学年主任	□□□	□ 年 □ 月	□□□□
14	教 諭	齋 藤 一 成	高 1 - 1 ②	□□□	□ 年 □ 月	□□□□
15	教 諭	古 川 純	高 2 - 1 ②	□□□	□ 年 □ 月	□□□□
16	教 諭	服 部 佳 央	高 3 - 1 ①	□□□	□ 年 □ 月	□□□□
17	教 諭	河 西 祐 治	中 3 学年主任	□□□	□ 年 □ 月	□□□□
18	教 諭	若 月 淳 子	小学部 部主事	□□□	□ 年 □ 月	□□□□
19	教 諭	鈴 木 一 呂 代	高 2 - 1 ①	□□□	□ 年 □ 月	□□□□
20	教 諭	小 野 緑	高 2 学年主任	□□□	□ 年 □ 月	□□□□
21	教 諭	中 村 ゆ う 子	高 3 学年主任	□□□	□ 年 □ 月	□□□□
22	教 諭	下 田 由 貴	高等部 副部主事	□□□	□ 年 □ 月	□□□□
23	教 諭	廣 岡 友 里	小 1 学年主任	□□□	□ 年 □ 月	□□□□
24	教 諭	望 月 佑 美	小 5 - 2	□□□	□ 年 □ 月	□□□□
25	教 諭	渥 美 明 子	小 4 学年主任	□□□	□ 年 □ 月	□□□□

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
26	教諭	松本 貴宏	高等部 部主事	□□□	□年□月	□□□□
27	教諭	鈴木 一平	高1 学年主任	□□□	□年□月	□□□□
28	教諭	小田木 克成	高等部 副部主事	□□□	□年□月	□□□□
29	教諭	田中 真弓	小2 学年主任	□□□	□年□月	□□□□
30	教諭	中村 礼美	高等部級外	□□□	□年□月	□□□□
31	教諭	市河 美加		□□□	□年□月	□□□□
32	教諭	濱田 周子		□□□	□年□月	□□□□
33	教諭	八木 信耶	高等部級外	□□□	□年□月	□□□□
34	教諭	長谷川 智美		□□□	□年□月	□□□□
35	教諭	五十嵐 育子		□□□	□年□月	□□□□
36	教諭	河合 梨紗	小5 学年主任	□□□	□年□月	□□□□
37	教諭	渡邊 結香理	高等部級外	□□□	□年□月	□□□□
38	教諭	正木 淳	高等部級外	□□□	□年□月	□□□□
39	教諭	風間 真由子		□□□	□年□月	□□□□
40	教諭	御室 博臣	高3-1②	□□□	□年□月	□□□□
41	教諭	伊藤 晃	中2-1	□□□	□年□月	□□□□
42	教諭	榊原 久美子	小学部級外	□□□	□年□月	□□□□
43	教諭	村田 範子		□□□	□年□月	□□□□
44	教諭	金田 晃徳	中2 学年主任	□□□	□年□月	□□□□
45	教諭	山本 捷太	高等部級外	□□□	□年□月	□□□□
46	教諭	秋山 和希子	中学部級外	□□□	□年□月	□□□□
47	教諭	野中 千裕	小3 学年主任	□□□	□年□月	□□□□
48	教諭	伊藤 伶奈		□□□	□年□月	□□□□
49	教諭	早田 真穂	高等部級外	□□□	□年□月	□□□□
50	教諭	宮下 稜平	中3-1	□□□	□年□月	□□□□

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
51	教諭	笹木 将行	中学部級外	□□□	□年□月	□□□□
52	教諭	鈴木 佳奈	小1-1②	□□□	□年□月	□□□□
53	教諭	田口 有菜	小3-1②	□□□	□年□月	□□□□
54	教諭	三坂 綾奈		□□□	□年□月	□□□□
55	教諭	高野 唯	小1-2①	□□□	□年□月	□□□□
56	教諭	仲村 佳美	小5-1	□□□	□年□月	□□□□
57	教諭	曾我 駿	小6-2	□□□	□年□月	□□□□
58	教諭	齋藤 泉希	小2-1	□□□	□年□月	□□□□
59	教諭	伊藤 夏菜	高1-1①	□□□	□年□月	□□□□
60	教諭	正木 郁美		□□□	□年□月	□□□□
61	教諭	佐藤 花菜	小1-2②	□□□	□年□月	□□□□
62	教諭	福本 菜月	小学部級外	□□□	□年□月	□□□□
63	養護教諭	大場 愛子	養護	□□□	□年□月	□□□□
64	養護教諭	大上 麻実	養護	□□□	□年□月	□□□□
65	栄養教諭	大屋 久美	給食業務	□□□	□年□月	□□□□
66	事務長	馬淵 香苗	事務総括	□□□	□年□月	□□□□
67	主査	小澤 徳洋	管財会計	□□□	□年□月	□□□□
68	主査	加藤 由佳理	会計庶務	□□□	□年□月	□□□□
69	主任	伊東 美帆	庶務会計	□□□	□年□月	□□□□
平均年数					0年0月	

臨時職員等

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	教諭(任)	児玉郁代	小3-1①	□□□	□年□月	□□□□
2	教諭(任)	石井裕美	高2-2	□□□	□年□月	□□□□
3	教諭(任)	伊藤祐子	小学部級外	□□□	□年□月	□□□□
4	教諭(任)	岡恭子	中2-3	□□□	□年□月	□□□□
5	教諭(任)	定直友美	小3-2	□□□	□年□月	□□□□
6	教諭(任)	増井清恵	高1-2	□□□	□年□月	□□□□
7	教諭(任)	新村遼太郎	小5-3	□□□	□年□月	□□□□
8	教諭(任)	河邊容子	高2-3	□□□	□年□月	□□□□
9	教諭(臨)	牧野道代	小学部級外	□□□	□年□月	□□□□
10	教諭(臨)	山田良子	小学部級外	□□□	□年□月	□□□□
11	教諭(臨)	宝満泰子	小学部級外	□□□	□年□月	□□□□
12	教諭(臨)	壁谷真衣	高1-3	□□□	□年□月	□□□□
13	教諭(臨)	梶井嘉伸	高等部級外	□□□	□年□月	□□□□
14	教諭(臨)	湯浅歆多	高等部級外	□□□	□年□月	□□□□
15	教諭(臨)	飯吉美羽	高等部級外	□□□	□年□月	□□□□
16	非常勤 労務職員	尾藤武彦	用務	□□□	□年□月	□□□□
17	非常勤 労務職員	袴田浩行	用務	□□□	□年□月	□□□□
18	非常勤 労務職員	小松孝子	スクールバス 介助	□□□	□年□月	□□□□
19	非常勤 労務職員	渥美良和	スクールバス 介助	□□□	□年□月	□□□□
20	非常勤労務職員 非常勤講師	前田耕一	スクールバス介助 初任者の指導	□□□	□年□月	□□□□
21	非常勤 嘱託員	鈴木勝久	実習支援員の 指導他	□□□	□年□月	□□□□
22	非常勤 嘱託員	八田修一	実習支援	□□□	□年□月	□□□□
23	非常勤 嘱託員	藤田圭貴	実習支援	□□□	□年□月	□□□□
24	学校医	藤田周子	内科	□□□	□年□月	□□□□
25	学校医	有木玄	眼科	□□□	□年□月	□□□□
26	学校医	門園明	耳鼻科	□□□	□年□月	□□□□

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
27	学 校 医	松 下 聡	整形外科	□□□	□ 年 □ 月	□□□□
28	学 校 医	鳥 居 賢 一	歯 科	□□□	□ 年 □ 月	□□□□
29	学校 薬剤師	德 永 大 祐		□□□	□ 年 □ 月	□□□□
30	健康 管理医	疋 田 博 之		□□□	□ 年 □ 月	□□□□

## 職員の年齢調

(令和7年7月31日 現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0 人	
20歳以上30歳未満	8	
30歳以上40歳未満	24	
40歳以上50歳未満	19	
50歳以上56歳未満	11	
56歳以上61歳未満	5	
61歳以上	2	暫定再任用 2 人
計	69	平均年齢 41.3歳

## 健康管理

### 1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 66人 職員数 69人
受 診 率	100%
県平均受診率	100%

(1) 未受診の理由

産・育休3人

### 2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		0人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	0人
B 2		要経過観察	0人
C 1	勤務をほぼ平常に行ってもよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	1人 (1)
C 2		要経過観察	2人 (2)
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	13人 (13)
D 2		要経過観察	7人 (7)
D 3		医 療 不 要	42人 (42)
区 分 者 計			65人
未区分者数			4人
合 計			69人

(1) 管理区分A～C2該当者

に対する措置状況

C1：膠原病による治療中

C2：妊娠中による経過観察

(2) 未区分の理由

ア 産休・育休 2人

イ 新規採用 2人

ウ 自己都合による未受診 人

エ その他 ( ) 人